

ロシア留学体験レポート

新潟国際情報大学
国際文化学科 2年
近藤里虹

4か月間ロシア留学で大変だったことは授業ももちろんですが、お金の使い方や気遣いです。気を付けていましたが、カードを持つことが初めてだったので、金銭感覚がなくなってしまい、上限を超えてしまい、親や友達に迷惑をかけてしまいました。当たり前のことですが、人と暮らすのに気遣いは付き物なのでどんな時でも相手の立場になり考えることの大切さが、今まで以上に痛感しました。1人になる時間もなかなか作れないので、朝早く起きることや、街に行くことで、自分だけの時間をうまく作ることが大切だと感じました。

印象に残っていることは、プリモルスキー水族館(沿海州水族館)に行ったことです。ウラジオストクのルースキー島にあるロシア最大の水族館です。プーチン大統領や安倍首相が訪れたこともあります。一周周るのにも3時間くらいかかるほど館内はとても広いです。日本では見ることのできない生き物がたくさんいます。また、イルカショーは日本とはまた違いとても迫力があり本格的でした。お土産屋さんにあるグッズの種類が多いうえに、店員の方が優しい方だったので良い時間を過ごせました。帰りのバスでは、ロシアに来て初めて、凍っている海を見ることができました。

後悔したことが2つあります。まず1つ目は、留学前にロシア語の勉強をしっかりとしなかったことです。中学で習う単語はもちろん、日常会話等も完璧に覚えて留学に臨めば、より良い留学になったと感じました。そして2つ目は、同室を日本人にしたことです。言語が通じることで問題は起きにくいだろうと考えていましたが、関係がないことがわかり、韓国の方と同室の日本人たちがとても羨ましく感じました。なので、今後行く方々には他国の人にするこゝでより楽しめると思うので推奨します。

また、実家暮らしのため、自分ですべてのことを行うことは初めてだったので、とても心配でしたが、規則正しく生活することができました。今回の留学がなければ、社会人になる前に経験ができなかったのでこういう面でも成長できたと感じます。

今回のロシア留学では、楽しい時間だけでなく、困難に見舞われることもありましたが、日本にいたらできない体験ばかりだったのでとても良い体験となりました。ウラジオストク国立経済大学の先生方、国際情報大学の関係者の皆様の支援がなければこのような貴重な体験ができませんでした。心より感謝申し上げます。